

WUB Tokyo NEWS

No. 10 2011.6.10

発行 / WUB 東京 広報委員会

発行責任者 / 平良 智広

WUB 東京 連絡先

〒154-0001 東京都世田谷区池尻4-38-8-401

昭和生化学株式会社 内

FAX 020-4623-5326

URL <http://wubtokyo.com>

E-mail mail@wubtokyo.com



INDEX — WUB ネットワーク会議報告 —

- 第14回 WUBネットワーク理事会・会議・ハワイに参加して
——長嶺 爲泰
- WUB関西10周年記念パーティ参加報告
——平良 智広
- WUB東京 11月例会報告——三島 萬里子
- WUB東京 フラッシュバック(10年4月～11年4月)
- 情報発信掲示板——新入会員紹介/編集後記

第14回 WUBネットワーク理事会・会議・ハワイに参加して

WUB東京 名誉会長 長嶺 爲泰

2010年10月16日、WUBネットワーク理事会、並びに、翌17日、第14回 WUBネットワーク会議がハワイにて開催されました。ハワイでのWUB世界会議は3度目になり、政治的・経済的に安定しているハワイ社会でのウチナンチュの歴史は一世紀を越え、現在では2世～3世の方々が組織の中心的指導者として活躍しており、1990年に沖縄で開催された第一回世界のウチナンチュ大会を契機に、両親や祖父母の故郷沖縄の芸能、文化並びに各々のルーツに対する興味が、年々活発になっている。

16日の理事会は、エメラルドグリーンの海の向こう側にハワイ名物の夕日が沈むダイヤモンドヘッドが一望できるビーチハウスを借り切って、海外からの参加者を迎えて行なわれた。到着した前日夜は、近くのレストランにてWUBハワイの中心メンバーご夫妻と共に歓迎夕食会で盛り上がった。理事会には、WUBアルゼンチン、ブラジル、ペルー、北米、マウイ、沖縄、関西、東京及び地元ハワイからの代表や会員が参加し、WUBネットワークからの会計報告、経過報告に続き、各支部代表の活動報告や提案等がなされた。特筆すべきこととして、マウイ島と宮古島が姉妹提携の話を進めており、その一環としてWUBマウイでは来年春を目前に、宮古での高校生ホームステイを計画しているとの報告、関連してWUB沖縄の東会長より折角のチャンスなので宮古にWUB支部を設立してWUB活動の一環にすればよろしいのではとの提

案があり、宮古支部設立に当たり、WUB沖縄が全面的に協力することになった(1月にWUB宮古設立)。尚、WUB奨学金制度についての財務報告があり、ボブ仲宗根創設者より各支部からの奨学金を利用したハワイ大学東西センターでの勉学希望者募集の



報告があった。又、2011年10月13日～16日に第5回世界のウチナンチュ大会が沖縄にて開催されることが決まったとの報告があり、同時期に平行して第15回 WUB世界大会を沖縄にて開催することも決定された。

17日の第14回 WUBネットワーク会議は、ハワイ大学のイーストウェストセンター(EWC)において、“ウチナンチュの歴史を語る”をテーマに、WUBメンバーを始め、ハワイ在住ウチナンチュ社会から、琉球舞踊、



和やかな雰囲気でのWUBネットワーク理事会

三味線、空手、武道、歴史研究者、医者、弁護士、大学教授、会社経営者、若手アキサミヨウクラブ会員、留学生等、多義・多彩の男女・老若からなる120人以上の沖縄関係者が集って、盛大に開催された。世界には3百万人程の沖縄系人が存在するが、その1/3は海外に住んでいるとの紹介があり、世界のWUB支部参加者やWUBハワイメンバーと、地元ハワイからの25～35団体の沖縄関係団体代表メンバーとの初めての交流が持てることは有意義である、との紹介があった。開会に当たり、WUBネットワーク牧志泰三会長は、WUB組織はビジ

ネスを中心に活動してきたが、2年前から目的を拡張、ビジネス活動を継続しながらウチナンチュネットワークの構築を中心目的とする場と位置付けており、本日は世界のWUBメンバーとハワイの皆さんとの交流が楽しく進みますように希望し願っております、と挨拶された。

基調講演は、福岡県出身の日系アメリカ人で1974年に初めて日系人としてハワイ州知事に就任、3期14年間活躍した有吉ジョウジ氏のスピーチで、ハワイ州はアメリカ国内でも一番大きな沖縄コミュニティを有しており、これを通して沖縄県と文化的、民族的交流を共有している、私がハワイ州知事時代に西銘沖縄県知事と姉妹提携を結び、ハワイ州は沖縄に関する政府機関を持っている、伝統的にハワイ大



第14回 WUBネットワーク会議の一時

学は沖縄研究に強く、現在沖縄研究センターを持っており、東西センター（EWC）は沖縄との深い絆を構築していて、私達が沖縄県と更なる関係を築くにはWUB創設者であるボブ仲宗根氏のお力添えがあったこと、私達の努力はウチナンチュ組織の構築にあり、私達はこの様に継続、発展、同化する組織を誇りに思っております、との報告があった。

続いてWUBハワイ会長、ロイド・アラカキ氏より、この会議をウチナンチュ・トーク・ストーリー（お互いに話し合う）の名前にした理由について、沖縄県系人の1/3が世界中（海外）に住んでおり、WUB組織は、1997年の設立以来毎年世界の各地にて集いを開催し、ウチナンチュとしてお互いが語り合い、沖縄の心を持っている人達が出会うチャンスの場になっており、世界で最も大きなウチナンチュ・ビジネス・コミュニティであるとの解説があった。

その後、海外から参加のWUBを代表してブラジル、北米、東京の代表により各々の国における沖縄県人会の活動についての説明があり、沖縄代表からは沖縄及びアジアにての活動報告で午前中の会議が終了した。

午後からは、ワークショップ WUBネットワーク理事会後の記念写真（歴史について語る）をテーマに120人を越える色々な職業の参加者が9つのテーブルに別れ、個人個人の自己紹介に続き「ウチナンチュ・スピリット」とは何かを個々の考え方で公表し、代表的な意見がコーディネーターにより全体会議（パネルディスカッション）で発表された。

ウチナンチュ・スピリットについての色々な考え方を纏めると以下の通りとなる。

- 沖縄スピリットとはお互いが協力しようということ、そういう例がハワイにある。
- 特徴として沖縄の人は我慢を知っていて、継続的なこととして困難を乗り越えることができる。

- ウチナンチュはあまり物事を悩まず、ナンクルナイサー的で前向きである。
- 祖先に対する敬意を持つ、祖先崇拝の精神を持っている。
- ウチナンチュ・スピリットとは心から来る気持ちであり、お互い助け合い、沖縄というものを認識することだと思う。
- 世代の違いによっても解釈が異なり、古い世代の人達は伝統を守ることがウチナンチュ魂と表現するが、若い人達には新しい解釈がある。共通することは、コミュニティ、お互いが共有するということだと言える。
- ハワイでは、沖縄にルーツを持つ持たないに拘わらず、オキナワン・フェスティバルに集まってくる全ての人々はイチャリバチョーデー、ユイマール精神といった沖縄の心を持っており、そういう人々に共通する気持ち（魂）をウチナンチュ・スピリットと考えている。



WUBネットワーク理事会後の記念写真

- 言い換えれば、ウチナンチュ・スピリットとは、イチャリバチョウデー（出会えば兄弟）、チムグクルー（心豊かに）、結いマール（助け合う精神）で、違う言葉、場所等を一つの絆にすることではないかと思われる。
- オキナワン・スピリットには気持ちを解放するといった意味も含まれており、お互いに助け合う精神があるという思いも込められた表現だと思われる。沖縄スピリットは沖縄の中にもあるが、海外の方が強いのかも知れない。それはノスタルジーみたいなものであり、夢見がちとも取れるが、オキナワン・スピリットは自分も継承したいし、子供達にも継承して欲しい「故郷や祖先への想い」でもある。

今回の集いでは、『ハワイのウチナンチュ社会は、移民の歴史もさることながら、民主主義国家での政治・経済的に安定した環境の中で、理想的で心豊かな人生、生活を楽しめる環境にある』ということを感じ、認識を新たにしました。とても貴重な体験であった。

WUB関西10周年記念パーティ参加報告

WUB関西のみなさま、この度は、設立10周年記念、おめでとうございます。

記念式典に、重田顧問、長嶺名誉会長、小畑副会長、国吉事務局長、今井会員とともに参加してまいりました。今回の10周年記念にあたり、すばらしいイベントにお招きいただいた御礼をお



パーティ実行メンバー同

WUB東京 会長 平良 智広

伝えしつつ、会の素晴らしさに素直に感動しました気持ちをお伝えしたいと思います。

昨年12月にWUB関西事務局のcybercraft社の小西さん、田中さんが東京に出張でいらっしやった際に、2月予定のWUB関西10周年の件を連絡したいとのことで、国吉事務局長と一緒に有楽町のいいあんべにて打合せを行いました。その時、WUB関西では「世界一熱いWUB」を標榜されているとのことで、関西らしいと感じつつ、事務局が活発にいい活動をしていると感じました。

WUB東京は1999年に設立されており、一足先に2009年度に10周年を向かえ、屋形船を企画しました。最初、私は、関西も宴会を行うようなイベントを想像していました。ところが、WUB関西設立10周年記念式典の当日配布されたプログラムを見て驚きました。きれいに製本され20ページに及ぶプログラ



ムを開いてみると沖縄県知事からご挨拶をいただいただけでなく、大阪府知事や大阪市長からも祝辞をいただいております。WUB関西の10年の歩みが写真とともに紹介された立派なものでした。この瞬間、関西の10周年記念イベントが本格的に企画されたイベントだと認識を新たにしました。

記念式典は、厳かに檜の舞台で行われました。開会の辞に始まり、WUB 関西 仲里会長の挨拶とほら貝の演奏、NW 牧志会長、沖縄 東会長、東京と各会長挨拶、大阪沖縄県人会



格調高くほら貝の演奏が…

連合会会長の挨拶、金城康子 琉球道場の琉球舞踊の演奏と厳粛な雰囲気の中で進められました。あまりに立派な記念式典でしたので、東京の挨拶の中で、大阪が世界一熱いWUBを目指すなら、東京は、世界一クールなWUBを目指したいと言ってしまった程です。

その後、12:30から始まった記念パーティが、また大阪らしく楽しいものでした。石垣島出身でクイズヘキサゴンからデビューしたシンガーソングライターのRYOEIが生ギターで熱唱したと思ったら、東洋太平洋フェザー級チャンピオンの仲村正男が登場したりとバラエティに富み、大いに盛り上がりました。



熱唱する石垣島出身のRYOEI

また、WUB関西へ貢献した人々が表彰され、東京からも重田顧問と長嶺名誉会長が表彰されました。パーティの最後にイベントの企画に携わったWUB関西のメンバー一同が出てきて、



表彰を受ける長嶺名誉会長と重田顧問

みんなで三線を演奏しました。東京大会のときもそうでしたが、イベントのためにみんな頑張るわけですが、苦勞している事務局そのものが盛り上がることも大事です。その苦勞役の推進メンバーが最後に出てきてみんなで盛り上がるのは、さすがエンターテイメントの本場、関西だと感服しました。

今回、WUB関西の10周年記念イベントに参加し、関西の熱気を感じました。関西と東京の会員間のビジネス交流も生まれていると聞いています。お互いに協力、切磋琢磨しながらWUBのつながりを広げていけたらと思います。関西に臨む牧志NW会長、東 沖縄会長、平良 東京会長西らしい楽しく素晴らしいイベントに改めて感謝するとともに、日本のビジネスの中心である関西と東京が連携し、WUBのネットワークを発展していくことができると願っています。



式典に臨む牧志NW会長、東 沖縄会長、平良 東京会長

WUB東京 2010年11月例会の報告

WUB東京 会計 三島 萬里子

去る2010年11月10日、霞ヶ関ビル35階の会場で、講師にWUB東京副会長の小畑氏を迎え、例会が開催された。今回の例会の第一部の講演会は、やる気のある人材を育成する塾(「小畑塾」)を主催されている小畑氏のご好意により実現されたものである。講演タイトルは、「業務遂行力の強化に向けて(ものごとを進める力を強化するために)」で、業務遂行力の強化をテーマにした内容だった。



講演をする小畑氏



小畑氏の講演を真剣に聞き入る皆さん

はじめに、業務遂行力(ものごとを進める力)とはいったい何か?という誘起があり、業務遂行力・知力・能力の関係を、左脳のなもの右脳のものに分けて意識付ける、といった内容が、画面の図式を見ながら判り易く解説された。よく、左脳の働き、右脳の働きといったことを耳にはするが、このように解説して頂くとうまく理解できると感じた。

次に、日本の学校教育の特徴や主眼と社会が求めているスキルとの違いや、能力を伸ばすことの困難さ等の話を通して、「知識至上主義」が失ってきた「本能的な生きる力」を取り戻すことから始まる「意識改革」を喚起するには如何なる手立てがあるか、といった内容について解り易く分析がされ、丁寧に講義された。



やる気がある人を相手にした内容ではあったが、少し落ちていた人も奮起できたのではないだろうか? こういった話は、普段、なかなか聞くチャンスがないので、非常に有意義な時間だったと思う。質問時間を含めて1時間30分という限られた時間では、とても納まらない内容であったが、会場の都合で何とか時間内に要約して頂いた。

第二部は懇親会、こちらも時間に制約されて慌しく何とも余韻の残る例会だった。今後もこのような例会をもっと時間にゆとりを持って開催することが出来るようにしたい。

講師の小畑さん、大阪-東京間を何度も行ったり来たりとお忙しい中、貴重な講義をありがとうございました。



第二部の懇親会

2010年(4月) 10日/理事会開催。会長・理事の改選等を活発に議論。また、名嘉理事のご令嬢で沖縄県伊是名漁業協同組合正規販売代理店代表 近藤ゆうなさんも初参加、WUB東京へ入会いただくこととなりました。



WUB東京 フラッシュバック (10年4月~11年4月)



入会することとなった今井会員の自己紹介がありました。

【12月】1日/忘年会開催。今回は趣向を変え、五反田のペ

【5月】20日/霞ヶ関東海大学交友会館にて総会開催。役員改選があり、平良会長を再選するとともに、一部理事の交代がありました。沖縄ツースト東京支店の飯田支店長に新たな理事としてご参加



ルー料理店アルコイリスにて開催。いつもの霞ヶ関ビルの雰囲気と



違い、リラックスしたムードの中、ペルー料理を堪能。会は大いに盛り上がり、つついペルーのお酒も



どどんすすんで・・・



いただくことになりました。

【9月】25日/理事会開催。議題は、例会、NW会議、忘年会について。小畑副会長の人材育成をテーマとした講演会を例会として、開催することを決定。ハワイで開催されるNW会議には東京から代表として長嶺名誉



会長に参加いただくことに。
【10月】16~17日/NW会議をハワイ大学東西センターで開催。ウチナンチュスピリットとは何かなど熱い議論を。WUB奨学金制度の報告もありました。

2011年(2月)12日/WUB関西設立10周年記念式典をホテルモンテレ・ラ・スール大阪で開催。東京からは、重田顧問、長嶺名誉会長、平良



～世界で一番熱いWUB・WU
WUB関西設立10周年記



長、小畑副会長、国吉事務局長、今井会員が参加。

【11月】10日/講演会開催。小畑副会長による人材育成をテーマとした講演会を開催。左脳だけではなく右脳も活用すべし!といった、小畑副会長の長年の経験に基づく独自の理論を展開、大いに勉強になる講演でした。その後の懇親会では、新たにWUB東京に



遠延期に。東京出張のためたまたま来ていた上原秀樹理事は、翌日そのまま帰ることに。

【4月】9日/理事会開催。東日本大震災に対して、WUB東京から義捐金を拠出することを決定。14日/沖縄県東京事務所 上原所長へWUB東京からの義捐金10万円を提供。ささやかながら震災の復興に少しでもお役に立てればと願います。



■新入会員紹介

今井 恒子 (株式会社フロッサ 代表取締役)

WUB万歳! うりずんの季節、南国を思わせるそよ風が心地良い。心地良さに身を任せていると、あっという間にWUB機関誌「えーく(権)」の締切日。新入会員紹介としての記事寄稿の依頼を受けたのだが、周囲の方々からも「えっ、会員じゃなかったの?」とちょっとした驚きの声が上がった。それもそのはず、2008年にブラジル(サンパウロ)にて開催された「沖縄県人移民100周年記念祝賀祭典」、「第12回WUB世界会議」には長嶺前会長のお声掛けでWUB東京の皆様と一緒に参加させて頂き、パレードではWUBの旗を掲げて最前列、先頭に立ち行進させて頂いた。世界各地



のウチナンチュ達がビジネスを通してのネットワークづくりとウチナンチュちむぐる(肝心)を忘れずに活動する姿に感動を覚え、いつかはWUB活

情報発信 掲示板

動に参加との思いもあり入会の運びとなった。えーくを掲げ、WUB万歳! 新人漕ぎ手となりますがどうぞ宜しくお願いいたします。

■編集後記

今年は余裕を持って事に当たろうと、2月15日から編集作業に着手し、3月1



日にはテーマ決めの工程に入ったが、3月11日にえーくの編集どころではない事態が発生し、予定が掻き乱されてしまった。

他にも阻害要因が重なり進捗は大幅に遅れ、気を取り直してリスキを行なったのは、ひと月以上も経った4月中半過ぎだった。焦りながら新規時き直しし、急遽ペースアップを行ない、総会までに何とか発行に漕ぎ着けることができた。これも偏に、無理なお願ひに応じて頂いた執筆ご担当者、レイアウト・割り付け以降の工程を一手に引き受けて頂いた蠟山様のご尽力の賜と深く感謝している。(副会長 小畑)

会員の皆様からの近況報告やイベントや商品等の告知、ご意見等をお待ちいたしております。どしどしお寄せください。